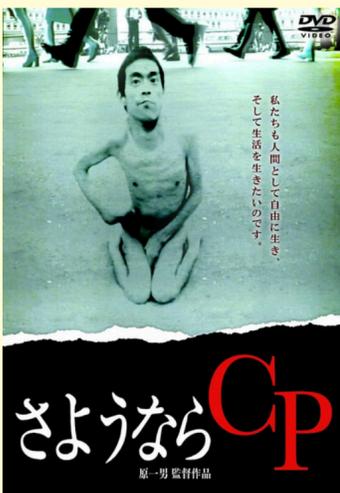


# KDLスタッフが選ぶ！ 今月のおすすめ資料

## 2024 December

12月3日は国際障がい者デーです。この機会に、障害のさまざまなあり方や、社会の文脈において障害に関する経験について、一緒に考えてみましょう。

3



CP（脳性まひ）者の急進的な団体「青い芝」の人々の生活と思想をカメラに収めた作品。障がい者だからと言って片隅でこっそり生きるのとは差別の容認と考へ、彼らは不自由な体を積極的に人前にさらしていく。



1979年の養護学校義務化の年の1月、文部省前に義務化を阻止しようと集まった障害者当事者を中心とする人たちの6日間の記録映画。養護学校はなぜいけないのかを当事者へのインタビューを通して伝えている。



吃音に悩んできた主人公・柏崎悠太は、中学入学式の日、自己紹介のプレッシャーに耐えられず、教室から逃げ出してしまう。なんとかしたいと思って、放送部に入る。周囲の人に助けられ、途中くじけながらも少しずつ変わっていく、葛藤と成長の物語。



ADHDと診断された人、またはその傾向のある人が、いかに自分の可能性（強み）に気づき、より良く生きていくためにはどうすべきか。症状の理解から診断、対処法まで、日常生活や仕事で役立つ具体的な方法が紹介されている。



自分が心の病なんじゃないかと思った経験がある夜野さんは、心の病気の仕組みを知りたくて、精神科病院の看護師になる。精神科病院を舞台に、さまざまな患者さんの生き方や心の病気との関わりから、私たち自身の“ココロ”を考える。

